

2020年度 第1回評議員会資料 審議#2

一般財団法人テクニカルコミュニケーター協会 2020年度 改正事業計画

2020年6月3日

一般財団法人テクニカルコミュニケーター協会
理事会

1) コロナ危機に対応する協会活動(6月以降)

◆背景

- ・今回のコロナ危機に伴う支出超過を最小限に抑えつつも、会員に対するサービスを維持するためにBCP(事業継続計画)視点で2020年の事業計画を見直す。
- ・ISO/IEC/IEEEの活動はWebベースで着々と進行している。
- ・アドビやマイクロソフトなど、欧米系企業と業界団体はネット上で各種活動を展開している。
- ・ビジネスにおいても対面コミュニケーションやリアルを前提としたイベント開催からネットコミュニケーション(Web会議やネット媒体などデジタルソリューション)を活用した業務推進へと移行している。

1) コロナ危機に対応する協会活動(6月以降)

◆対応策

- ・企業内、企業間、企業と消費者が新常态においてネットを活用するために必要なコミュニケーションリテラシーを研究し、研鑽する場を提供すること。これが、これからのTC協会の社会的役割となる。そのために、TC協会事業においても、ネットを積極活用した活動計画に切り替える。
- ・紙媒体を活用するコミュニケーション領域を対象として誕生し、デジタル媒体の活用を取り込んで発展してきたテクニカルコミュニケーション技術を、非接触コミュニケーションを指向する新常态に適したコミュニケーション技術へと昇華させる。
- ・新常态に求められる技術の研鑽、技術体系の可視化、および人材育成をTC協会は支援していく。同時にTC協会の貢献と価値をコミュニケーションに係わる幅広い企業人にアピールしていく。

1) コロナ危機に対応する協会活動(6月以降)

◆活動計画で改正したこと

●TCシンポジウム2020

- ・東京開催はネット開催で実施する。
イベント名称は「TCシンポジウム2020 On the Web」とする。
- ・京都開催は ハイブリッド開催(リアルとネットの併用)の実現を目指す。

●ジャパンマニユアルアワード2020

- ・Webを活用した講習会やマニユアル審査を行う。

●学術研究産学協同

- ・TCリデザイン学術研究会等、ネット開催の検討。

●TC技術検定

- ・7月に計画していた夏検定試験(TWとDR)は2021年冬に延期した。

●人材育成

- ・実務セミナー/特別セミナーはWebを活用した双方向スタイルの
On the Webセミナー形式を新規に企画して実施する。

2) 2020年度 改正収支計画

- ・年間収支は2019年度の正味財産を維持する計画とする。
収入は減少するが、支出を可能な限り抑えた計画とした。
- ・収入 **3,680万円** [2020当初計画:6,000万円 2019実績:6,533万円]
(2018年: 6,894万円、 2017年: 6,867万円)
- ・支出 **3,650万円** [2020当初計画:5,850万円 2019実績:6,383万円]
(2018年: 5,936万円、 2017年: 7,329万円)
- ・収支差額 **30万円** (2019年:150万円の黒字、正味財産は6,004万円となる)
(2018年: 958万円、 2017年: ▲462万円)
- ・流動性預金 **2,800万円** (2019年実績: 2,784万円)
*未払金を2018年と同額としたら3,050万円となる。
(2018年: 2,830万円、 2017年: 1,867万円)
- ・法人会員数 **94社** [2020当初計画:95社 実績:94社]
(2018年: 96社、 2017年: 94社)

3) 2020年度 改正収入計画 (個別事業単位)

◆公益事業	(2020改正)	(2020当初)	(2019実績)	(2019計画)	(2018実績)
・TCシンポジウム	400万円	1,750万円	2,236万円	2,500万円	2,760万円
・日本マニュアルコンテスト	108万円	200万円	173万円	200万円	143万円
<小計:>	508万円	<1,950万円>	<2,409万円>	<2,700万円>	<2,903万円>
◆会費収入	1,830万円	1,830万円	1,830万円	1,850万円	1,881万円
◆収益事業					
・TC技術検定	420万円	700万円	737万円	800万円	763万円
・人材育成	400万円	800万円	841万円	800万円	769万円
・受託	230万円	200万円	190万円	170万円	137万円
・出版	260万円	400万円	328万円	500万円	237万円
<小計:>	1,310万円	<2,100万円>	<2,096万円>	<2,270万円>	<1,906万円>
◆その他収入 (広告料、交流会、受取利息、ほか)	32万円	120万円	198万円	180万円	204万円
合計金額	3,680万円	6,000万円	6,533万円	7,000万円	6,894万円

4) 2020年度 改正支出計画

	(2020改正)	(2020当初)	(2020年実績)	(2019計画)	(2018実績)
・給与手当	775万円	850万円	817万円	810万円	676万円
・会議費	25万円	50万円	89万円	100万円	85万円
・通信交通費	342万円	850万円	914万円	750万円	742万円
・会場費	235万円	600万円	664万円	650万円	623万円
・業務委託費	1,220万円	1,400万円	1,687万円	1,400万円	1,793万円
・備品・消耗品費	104万円	130万円	210万円	240万円	216万円
・広報費	285万円	305万円	270万円	320万円	319万円
・印刷費	130万円	650万円	647万円	800万円	618万円
・機材賃貸料	40万円	100万円	140万円	200万円	159万円
・謝礼費	280万円	550万円	524万円	600万円	549万円
・法定福利費	118万円	140万円	123万円	130万円	120万円
・棚卸在庫計上	0万円	0万円	55万円	50万円	▲167万円
・その他経費	96万円	225万円	243万円	250万円	203万円
総支出	3,650万円	5,850万円	6,383万円	6,300万円	5,936万円

5) 2020年度 改正収支計画(案) 変更点

◆管理可能経費の徹底管理による削減

* 理事会の費用削減の継続: 理事給与・出張費用削減継続

給与: 規定額から120万円削減、出張費用: 70万円削減

* 事務局関連経費の削減: 事務所移転2年目となり更なる削減継続、400万円削減

* TCシンポジウム2020はハイブリッド開催: 1,500万円削減

* TC技術検定夏試験中止により、200万円削減

●上記削減策や不要不急の支出を抑える。

・2020年支出計画を 3,650万円以下とする。

◆収入計画は、着実に達成できそうな金額とする。

・TCシンポジウム収入はハイブリッド開催収入を見込む(400万円)

・TC技術検定試験は夏実施を取りやめる(420万円と前年比60%)

・会費収入は 法人会員数(94社)として1,830万円とする。

・2020年収入計画を 3,680万円以上とする。

◆現預金残高の状況:

・2018年12月末現預金: 2,830万円⇒2019年12月末は、*2,784万円となる(未払金は329万円)。

*未払金を2018年末と同額(595万円)とすれば、2019年末は3,050万円となる。

・2020年12月末の現預金の目標残高は、2,800万円以上とする。

備考)墨色 の箇所は、重点活動期間を示す。

名称	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
●法人会員数 <重点活動:7月~11月>	95	94	94	93	93							
■会議												
* 評議員会 <重点活動(事業計画策定):11月~3月>						○6/3 改正事業計画			○ 上半期実績 シンポ状況			○ 着地・2021事業 計画
* 理事会	●30		●18	●21	●25	○24	○	○	○	○	○	○
■メールマガジン	●28					●6/1						
■公益活動	●7	●4 ●25	●17	●14	●12 ●26	○6/9	○	○	○	○	○	○
* TCシンポジウム2020(東京開催)	委員:12人 実行委員:17人			●Web Designing	●HP告知 5/27			○8/27-28 ○Web Designing				委員募集
* TCシンポジウム2020(京都開催)	実行委員:27人									○10/7-9		
* ジャパンマニュアルアワード2020	委員:5人 実行委員:29人		募集開始 審査講習会	募集期間中	募集期間中 審査講習会	募集期間中	一次・二次審査	三次審査	部門賞・特別賞発表	MOY審査 (10/7)	サンプル集	報告書 委員募集
*産学協同学生ポスター発表										○9		
* 標準制作工程取り組み検討WG【8名】	●24					○						委員募集
* 解析取り組み実務技術研究会【12名】	●21					○						委員募集
* 次世代コンテンツ管理のためのメタ情報取り組み実務技術研究会【16名】												
* TC用語の国際標準化取り組み検討WG【7名】							○			○		○
* ISO/TC37/SC4(言語資源マネジメント) SC3(用語、情報、内容の管理システム)	●30					○					○	
* 中国CAS主催のTC関連イベント(上海)												
* tcworld 2019 in Stuttgart (tekomp主催) * 第10回国際TC円卓会議(於:ドイツ)											○3-5 tcworld ○2円卓会議	
■TC技術検定 <重点活動:11~2月、4~7月>												
* 3級 TW (2月):247名受験		●23日(247名)										
* 2級 DR (2月): ナシ												
* 2級 MP (2月):36名受験		●23日(36名)										
* 国際TC検定試験	1/27開講:なし		3/30開講:1名			6/29開講			9/21開講		11/16開講	
■人材育成 <重点活動:1月~6月>												
* 実務セミナー(東京):		●(13名)					○		○		○	○
* 特別セミナー(Adobe関連など):		●京都(19名) ●東京(29名)						○京都 ○東京			○東京 ○京都	
* 実務セミナー(京都):		●(11名)					○		○		○	○
* TC技術検定受験対策セミナー : 135名受講 (東京、大阪、名古屋、広島、福岡)	●(135名)											
* 出張セミナー(随時):												
* シンポ特別セッション:								○東京		○京都		
* TC専門課程委員会【8名】							○駿河台大学(基礎セミナー)					
* TC課程認定証:承認累計人数(2015年3月から)	109名	118名	123名	125名	126名							
■受託事業												
* 海外向けマニュアル評価サービス												
* 国内マニュアル評価サービス			●●				○		○		○	
■出版 & 広報												
* トリセツのつくりかた(制作実務)改訂												2021年発行予定
* 日本語スタイルガイド第4版												2021年発行予定
* PR広告など企画				●				○				
* 機関誌「Frontier」発行	●14号発行									○論文集		
* Web Designing(マイナビ)				●4/17号				○8/18号				